

品川区 事業承継ノート

事業承継支援 メニューのご案内

事業承継セミナー
事業承継専門家派遣
後継者塾
融資あっせん制度
設備投資助成

支援事例の ご紹介

- 1 思いを重ねる岳父と娘婿
有限会社 藤島銘鋳製作所
- 2 廃業を思い留まった創業社長
株式会社 ジーズバンク

その他にも、
ポータルサイトの利用など、
事業承継について悩んだら
ぜひ読んでみてください！

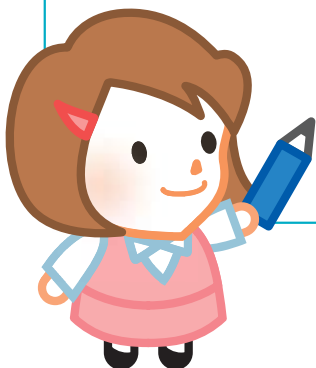


このノートについて



このノートは、品川区が行っている事業承継支援を一冊にまとめたものです。
支援制度やその活用方法、実際に事業承継を成功させた先輩企業の声など、経営者や後継者の方がこれから事業承継について考える際に、役立つ情報が満載です。
また、ノートには書き込み用のスペースが設けられています。自分の考えや気づいたことを記入しながらお手元に置いて活用してください。

事業承継士などの専門家に、一番聞いてみたいことは何ですか？



専門家派遣制度や事業承継セミナー参加の際にぜひご持参ください。

詳しくは P.7のポータルサイトへ！

目次とノートの活用法



人生100年。ご自身を含めた家族・従業員の将来の生活、会社の未来について考えてみましょう。

●保存版としての活用方法は手元に置いて時々眺めることです。

目次

P.3～7

事業承継支援メニュー

P.8～11

事業承継支援を受けた 企業インタビュー

① 有限会社 藤島銘鋳製作所

娘婿を後継者にする手順、配慮すべき
ポイント、後継者におくる言葉 など

P.12～14

事業承継支援を受けた 企業インタビュー

② 株式会社ジーズバンク

廃業から社員への事業譲渡へ
後継者が独立する動機、引き継ぐ決意 など

事業承継支援メニュー

1 事業承継セミナー

「事業承継の手順がわからない」「何から手を付けるべきか」「後継者をどのように経営者に育てるか」等、経営者の事業承継に関する悩みや課題解決に向けたセミナーを定期的で開催しております。また、後継者候補がない場合なども、どのように探すか具体的な事例を用いて解説しております。

主催/品川区 共催/芝信用金庫

事業承継セミナー

御社の後継者が今考えていること

承継が上手くいく！コミュニケーション術とは

12年で1,182名の後継者を育ててきたカリスマ講師にきく！

なぜ後継者を育てられないのか	事業承継の本質はどこにあるか	大半は譲る側の覚悟の問題
後継者を経営者にするために	覚悟をもった経営をさせるために	

終了後に個別相談あり(要予約)

1社15分程度 事前予約必須(先着順)

専門家が事業承継の悩みをお伺いします。

日時: 令和5年11月16日(木) 15:00~16:30

会場: 芝信用金庫 荏原町支店

定員: 20名(先着順) 参加費: 無料

対象: 事業承継を検討されている経営者・後継者・周囲の方

講師: 事業承継センター株式会社 常務取締役 東條裕一 (事業承継士/中小企業診断士)

「売れる仕組みづくり」「売れる営業体制づくり」のためのコンサルティングが得意。仕組み化、見える化の要素を、後継者支援に生かして、業績改善を支援。事業承継センターが企画運営する後継者塾では12年間、全国29か所で後継者塾を開催し、塾生数は延べ1182名。

Shinjyuku City 品川区 品川区「事業承継支援事業」

事業承継セミナー

参加費 無料

主催: 品川区 共催: さわやか信用金庫

悩んでいる経営者のための、優しくわかりやすい事業承継セミナー

経験者が語る、会社の次の世代へのゆずり方

講師: 事業承継支援のバイオニア 事業承継センター株式会社 パートナー コンサルタント 一般社団法人事業承継協会 代表理事 (事業承継士・中小企業診断士) 内藤 博

1,000件を超える実績を踏まえて、経営者と後継者を「会社の未来」へと優しく導きます!

1952年横浜市生まれ。出版社勤務を経て49歳で独立。自分自身がベンチャーの取締役として、成長発展から縮小リストラまで経験した強みを活かし、2011年に事業承継センター株式会社を設立。相続・事業承継に不可欠な家族会議への参加、親子間の仲介も行う。「事業承継士」の育成がライフワーク。2018年に自身の会社を事業承継し会費に就任。

日程: 2023年12月8日(金) 15:00~17:00 (個別相談会:30分程度)

会場: さわやか信用金庫 目黒支店 3階 コンベンションルーム (東京都目黒区下目黒1-1-11 目黒東洋ビル) *詳細は要し

定員: 30名(先着順) 対象: 事業承継を検討されている経営者やその家族、後継者およびその候補者

プレゼント: 心の中を書き出してみることによって誰が理想の社、自家承継の一手を握り出す発見が湧いてきます。

「手仕舞い」の仕事の手仕舞いノート

事業承継セミナーの活用方法

何から手を付ければよいか分からないことが多いと、事業承継そのものを先送りにしてしまうことがあります。後継者がいない、見つからないという場合も専門家が皆さまの状況にあわせて、後継者探しや次善策を一緒に考えます。

セミナー後には個別相談会を開催しております。この機会をぜひ有効に活用いただき、事業承継の準備を進めてください。





セミナーで聞きたいこと、悩んでいることを書いてみましょう。

1 いつ社長交代をしますか

()

2 誰に譲るべきですか

()

3 後継者はどうしますか

()

4 自社の評価額はいくらですか

()

5 退職金はいくら必要ですか

()

6 会計担当者の後継ぎはいますか

()

他にも、ご家族の人間関係や相続問題、税金や借入金についての質問が多いです。ご自分の悩みを書き出して整理してみましょう。

()



2 事業承継専門家派遣

多忙な経営者のご都合に合わせて、夜間休日問わずご希望の場所での相談が可能です。株式、不動産、借入金、税金、家族間の人間関係など、ありとあらゆる相談が可能です。お気軽にご相談ください。

3 しながわ!後継者塾

後継者としての心構えや覚悟を習得し、あわせて後継者(候補)という同じ立場の仲間との交流ができます。



一貫して変わらない塾の3つの理念

1 自社を徹底的に知る

経営に関する知識は重要であるが、自分の会社で使えなければ意味がない。会社に置き換えられる知恵として習得していくことを目的とする。普段見えない会社に連綿と受け継がれているもの、大切にしてきたもの、歴史を知り、背負う覚悟を醸成する。

2 経営者の思考力を身につける

情報の整理の仕方、本質的な課題の見出し方、解決策の導き出し方などを習得する。他者とのディスカッションの中で、多様なものの見方を知ると同時に、自分の意見を躊躇なく、論理的に話す能力を身に付ける。

3 一生切磋琢磨する仲間をつくる

他者が持っている自分に足りないものがわかり、刺激を受けあう仲間ができる。こうした交流を通じて、後継者という境遇を共にする、社内や同業者の集まりでは到底得られない、友達とも違う、一生切磋琢磨しあえるような仲間をつくる。

2.5時間×8回
全20時間



2017年より開催され、
受講生 約100名以上

社員さん! 社長候補を育てるチャンスです!

しながわ! 後継者塾

全8回 令和5年 10/18(水)

専門家「事業承継士」が後継者(候補)に、経営に必要な知識やノウハウを提供します。

後継者としての心構えや覚悟を習得し、あわせて後継者(候補)という同じ立場の仲間との交流ができます。

テーマ	内容
第1回 10/18(水) 経営理念を学ぶ	「思い」を軸に、その解説は何か? 実践したいならば、経営理念の重要性を学べます。
第2回 11/1(水) 経営戦略を学ぶ	「企業戦略のトップダウン」を戦略的な資料が経営者育成にどう活用できるか?
第3回 11/14(水) ビジネスモデルを学ぶ	企業活動に必要不可欠な、どこまでを伸ばしているのか? 成功の秘訣は? ビジネスモデルの考え方を学びます。
第4回 11/28(水) 組織と経営を学ぶ	組織の働きと社長としての役割、組織の強みや課題に対する課題解決の方法を学べます。
第5回 12/12(水) 人を扱うこと、労務管理を学ぶ	やりがいの仕事、モチベーションの上がる労働環境とは、どうすれば実現できるかを学べます。
第6回 12/26(水) 決算書と経営計画を学ぶ	決算書に書かれた数字の裏側を知り、それを会社の今後の成長にどうにかにかつぎかぎに活用できるかを学べます。
第7回 1/16(水) 社長の経営哲学を学ぶ	業績情報によって、経営するべき内容は変わってきます。企業に魅了し続ける経営者としての経営哲学を学べます。
第8回 1/30(水) 5年後の経営ビジョンを発表	これまで後継者塾で学んだことを発表し、経営者の視点からアドバイスを受けながら、5年後の経営ビジョンを発表します。

受講形式: 各テーマの講義を動画視聴し、各自で筆記(筆記1時間)のあと、グループディスカッション形式で学びます。

会場: 講義動画の振り返り、グループワーク(応用編)

対象: 区中小企業の後継者・後継者候補の方

定員: 15名(先着順)

時間: 18:00~20:30

費用: 無料

会場: 品川産業支援交流施設 (SHIP) 品川区品川10-1-5 大崎プライムコア4階

後継者塾 講師

東塚 裕一 (講師) 事業承継センター株式会社 専務取締役 事業承継センター企業支援部(19年6月) 区中小企業庁 専務(2021年)

高橋 聡 (講師) 事業承継センター株式会社 パートナー・コンサルタント 事業承継センター企業支援部

講師プロフィール: 高橋 聡 2019年より、区中小企業の経営者として、区民に「お金の相談」に関するアドバイスを行う「お金の相談センター」を開設している。事業承継センターから派遣する後継者塾の講師を務め、区民の「お金の相談」に関するアドバイスを行う。19年10月、区民の「お金の相談」に関する「お金の相談センター」を開設している。

好評につき今年で7期目!

後継者としての意思決定を体験しながら、自社について理解を深め、同じ境遇の仲間を作ることができるとの機会を是非ご活用ください。皆様のご参加をお待ちしております!

*本講座では、講師の紹介に基づき、受講者の情報交換、安心に受講していただけます。経営相談には対応いたしません。

人は人によってのみ磨かれる。

同じ境遇の仲間や専門家との交流によって身近な相談相手をつくることができます。経営に必須の知識×塾生同士の密な交流によって、大きく成長できる機会となるでしょう!

カリキュラム

- ① 経営理念
- ② 経営戦略
- ③ ビジネスモデル
- ④ 経営組織
- ⑤ 労務管理
- ⑥ 決算書
- ⑦ 経営指標
- ⑧ ビジョン発表



OB会の存在も大きな力

後継者塾卒業生の仲間たちでつくる「しながわ!後継者塾OB会」も発足しました。ぜひご参加ください。

後継者に求められる要素とは？

気になる点をお書きください。講師が丁寧にご説明いたします。

4 融資あっせん制度

必要な事業承継資金を低利で借り受けられるよう取扱金融機関に対して、区が斡旋いたします。

5 品川区事業承継設備投資助成

事業承継を契機に更なる競争力強化を目指した設備更新・導入に対する費用の一部を助成します。事業承継は、20～30年に一度という大イベントです。この制度を活用して、更なる企業の発展を目指しましょう。

事業承継の計画を考えてみましょう。

1 自社の強みや弱みは何ですか

()

2 後継者等に伝えたい経営への思いや信条は何ですか

()

3 事業承継資金の悩み、わからないことを書き出してみましょう

()

ポータルサイトについて

これまで以上に皆さまに寄り添ったご支援をするため、品川区では、悩みを抱える経営者や後継者向けのポータルサイトをオープンしました。区が実施している事業承継支援の最新情報や、チラシのダウンロード、セミナー申し込みなどが本サイトよりご利用できます。事業承継を円滑に進めるための役立つ情報や支援サービスが網羅されています。ぜひご利用ください！

こちらのURLからどうぞ！
<https://shoukei-shinagawa.jp>



品川区「事業承継支援事業」 ▶ 個人情報の取り扱いについて ▶ このホームページについて

品川区 お問合せ ログイン

[セミナー・講座](#) | [しながわ！後継者塾](#) | [専門家派遣](#) | [Advance コース](#) | [事業承継特集冊子](#) | [助成金・金融制度](#)

品川区 ▶ **品川区「事業承継支援事業」**
中小企業の貴重な経営資源を、次世代の意欲ある経営者に円滑に引き継いでいくことを目的とし、事業承継支援事業を行っております。

**後継者問題を抱えている
品川区内中小企業の皆様に
6つの支援を実施しています**

区内企業は無料で利用することができます



MEMO

有限会社 藤島銘鋳製作所

設立1950年 資本金 300万円 役員1名+社員3名
品川区大崎1-10-3



創業70年を超える、家族経営の町工場が、大崎駅前の再開発を経て、新たなスタートを切った。娘婿は、岳父から技術を習得し、後継者候補から経営者になる道を選ぶ。長年親しんだ大崎の町で、後継者塾の仲間との温かなつながりが、事業承継への決意を固めた。



紙とインキ、油と水、その反力を利用して美術的にも美しい印刷物を生み出すグラビア印刷。当社の特徴はその流れを組んだシルク印刷と、品川区の製造業との連携で生まれたエッチング印刷(金属板の表面を腐食させ絵柄を埋め込む、版画の技術を現代化した写真凸版印刷)を融合させた独自技術である。

デザイン図案・原版の作成、金属や樹脂を加工して表面に図柄を写し取り、精密な多色印刷、裁断、穴あけ、メッキなどの表面処理を施して最終製品の完成まで、すべての工程を自社工場と外注先との連携で行っている。ワンストップで顧客のあらゆるニーズに対応することで、地元根付いてきた。昭和の時代では、すべてが手作業で、元になる金型の製作費にイニシャルコストが発生し、多品種少量生産への対応が難しく、特に都市型の製造業としては衰退の一途をたどっていた。

そこで、品川区の助成金を活用し、万能プリンターを導入することで、紙以外の多くの素材への多色印刷を可能にし、需要の拡大を検討していた。

しかし、この機器を使いこなすには、コンピュータを活かした図面作成能力が必要となり、代表者である藤島さんに対応できる若手の人材を求めていた。

同じタイミングで、この大崎地区が再開発事業により町の様子が大きく変わることとなり、区画整理などが行われるため、当社も一時的に営業を休止することとなった。

事業承継を娘婿に打診

再開発工事が終わり、生まれ変わった大崎の町で、この時代にマッチする新たな感覚を持った若い経営者が必要となった。

当時、代表者であった藤島さんは、一級建

具体的な仕事の内容

看板・表札・サイン・カッティング文字・シルク印刷・エッジング・樹脂プレートの一貫企画製造など



創業者が語る

娘婿を後継者にする手順、配慮すべきポイント

- 1, お婿さんを一族として迎え入れること(従業員ではなく)
- 2, 後継者として仕事に取り組んでもらう(経営者として)
- 3, 先代からの人脈や信用、技術を引き継ぐ(思いを継ぐ)
- 4, 社長を継いで事業承継が完成する(肩書で周囲が認める)

夫婦仲良く
現場で
働いてきた



自社株式の暦年贈与で徐々に会社の所有権を移転させながら、代表権の移動は2023年6月に実施。これから先も会社で働かせてもらえることが、何よりの幸せだと藤島さんはいう。

築士であるお婿さんの松尾さんに、「後継者として事業承継してもらえないか」と打診、松尾さんは岳父に求められたことをきっかけにして、サラリーマンを辞めて家業を継ぐことを決心した。その理由は、この街が好きだということが一番の決め手だった。そして同じ音楽の趣味を持つ岳父に寄り添いながら、伝統的な技術に最新鋭のIT技術を注入できることにやりがいや面白さを感じていた。

事業を承継し、新たな設備を導入して、新しい事業を進めていく当事者として、後継者である松尾さんにとっても、万能大型プリンターの導入は大きな投資を伴うため、大いなる勇気をもっての決断となった。その決断の後押しとなったのが、品川区事業承継設備投資助成金だった。

事業承継士のサポートを受けながら、将来を見据えた計画(=事業承継計画)を作成し、審査



の後助成金の交付が確定。万能大型プリンターの導入が実現した。そこで、一級建築士としての仕事から、岳父の元でCADを使用した図案の作成を行うようになった。

代表は譲り、生涯現役を目指す

代表取締役の藤島昇さんは物静かな印象の技術者だ。細かいことは、奥様の言う通りにすることが、組織運営の要だと言う。「僕が父親に頼まれて、この会社を継いだのは、他に誰も

やる人がいなかったからだよ」。事業承継などという言葉が無い時代に、父から引き継いで二代目になる。簡単に言うが、時代は昭和。頑固な職人さんが多い時だから、自分の腕を磨き、一人前の仕事ができるようになるまでは、相当な訓練が必要だったはずだ。

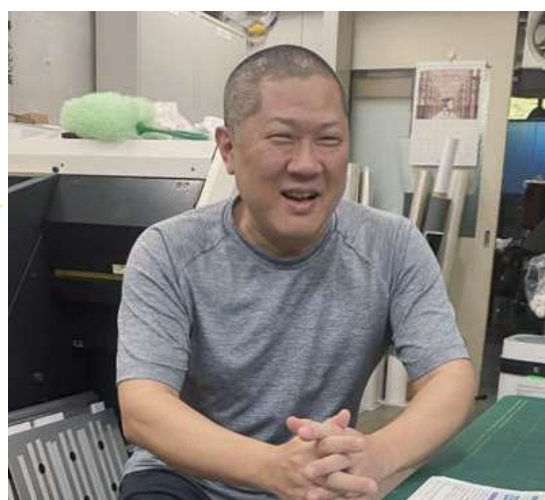
ところが、今度は仕事を譲る側になったら、後継者の松尾さんには無理なことは言わない。「自分が継いだ時にも、楽しく仕事ができるように配慮してもらったから」。



今でも僕に仕事の指名が入ると、うれしくてね。いつまで働けるか、自分の体力と相談しながら、昔のままの技術が生きる間は、私も頑張りたい。

お婿さんとして、社長になる苦労なんてありませんよ。それより未来がある、お客様が喜んでくれる仕事なのが一番うれしいです。

現在の松尾社長で3代目。4代目に継ぐためにも未来が見える技術として、会社を残していきたい。



そんな人の心の和が、当社を支えている。生涯現役を目指すお元気な先代。夫婦のこの笑顔が円満な事業承継の成功を物語っている。

助成金で万能大型プリンターを導入しなかったら、今ごろ経営は成り立たなかっただろうという。家族経営の町工場にとって新型設備の導入は、とても大きな投資となる。その最後の決断をしたのは、後継者だ。同じ道を歩んだ義理の父と婿。何よりも家族経営をうまく回していく秘訣は、「みんな仲良く、楽しく、無理のない仕事のやり方を探すこと」とのこと。

これから後継者になる方へ

助成金のことで、はじめて事業承継士と面談し、事業承継計画を立てました。

不安の少ない未来を創るためにも、会社の引継ぎを明確に行うことは大切だと思います。資金繰りのことはもちろん、先代とのコミュニケーションについてもフォローしてもらえました。

大崎の再開発事業の進展を見ながら、この町で仕事を続けられる幸せを感じています。

後継者塾へ参加して得たこと

後継者塾の仲間から仕事にかかわるアイデアをもらったり、外注先を紹介しあったり、飲み仲間が増えて、楽しいです。

ほかの塾生から刺激を受けて、今までは家族だけでしたが、将来を考えると人を雇うことで成長すると思うようになりました。自分が雇用責任を負うことに、ためらわずに挑戦しようと思います。父母が引退したら、人手が欲しくなりますからね。そこであわてないように、早めに人を雇い入れて技術を鍛えようと思います。



株式会社ジーズバンク

設立1989年 資本金1,000万円 役員2名+社員5名
品川区東五反田5-21-4 パティオ池田山3F



代表取締役の竹内さんは、(株)サンリオに長年勤務し、食品、衣料、生活雑貨、ステーションナリー、ラッピングなどの商品企画や海外商品の買い付け、ショップ運営など様々なプロジェクトに携わってきた。1989年に同社から独立。ジーズバンクには「ウサギのダフネ」を始めとするたくさんのオリジナルキャラクターがあり、新しいキャラクター制作はもとより、キャラクターを使った商品開発やセールスプロモーションなどのライセンスビジネスも提案している。数々の商品企画、広告宣伝やパッケージ制作、近年ではWebデザインの仕事で多くの企業ホームページ制作と管理などを手がけている。またコンピューターグラフィックスを駆使した、風景や動植物など精度の高い色彩豊かなイラストレーションを得意としており、中でも日本の「和」をモチーフにした作品制作に力を入れ、干支をテーマにしたイラストレーションには定評がある。

具体的な仕事の内容

オリジナルキャラクター制作、既存キャラクターを使用した商品開発、カタログやパッケージデザイン、HP制作、SNS 投稿画像の作成など

竹内さんは、リタイア後の生活基盤を温泉地の草津に置くため、長期的な計画で別荘を立てていた。コロナ前よりリモートでも出来る業務は草津で行いながら、品川区との二拠点生活を送っていた。しかしコロナを機に往復が出来なくなったことを受けて、自分の年齢と人生の幸せを考えたときに、そろそろ会社を閉じようという思いが募っていた。

しかし、自分の子供同様に大切に生み出してきたキャラクター達は、それぞれの企業のイメージを背負い、企業の商品とのコラボレーションの中で、しっかりと社会の中に息づいている。

そんなキャラクターたちを置き去りにして、自分だけ引退をすることはできるのだろうか？

また、育ててきた若手デザイナーたちの将来はどうなるのか？

取引先や従業員の雇用という、大きな社会的責任が重くのしかかり、判断に迷う悩みを抱えていた。

そこで、品川区の事業承継専門家派遣を申

し込み、これからの道を探ることにした。

廃業するという気持ちが大きかったため、当初は廃業相談として持ちかけていた。

しかし、ヒアリングの中で従業員への事業譲渡の可能性を感じた相談員から、事業の譲渡を提案される。廃業はせずに、営業に必要な知的資産を、従業員で新社長候補である川口さんが新たに創業する会社へ、譲渡する方針と決まった。あわせて、竹内さんの思いが詰まった「ジーズバンク」という会社名も、そのまま新会社へ引き継がれることとなった。

事業譲渡を受けることとなった従業員の川口さんは、後継者から経営者へと成長するために「しながわ!後継者塾」を受講し、着々と準備を進めた。





事業譲渡の形をとるとは？

事業譲渡なら知的資産が生き残る！

譲渡する資産を選別・リサイクル

廃業企業から

営業に必要なもの
新会社に売る

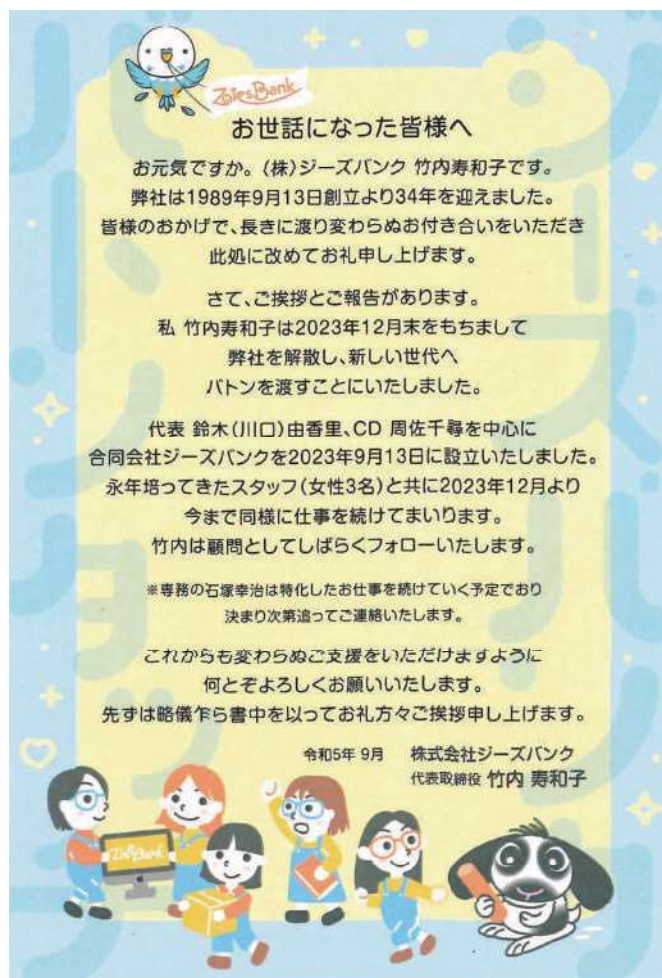
創業支援
営業開始・即日売上

退職金と顧問料で延べ払い。
経営支援と技術協力

会社の名前を残したい
創業者の希望を生かす

※詳細を確認したい方は、P.5 専門家派遣へ申し込みをし、ご相談ください。

「ハッピーリタイヤ=廃業」を思いとどまり、後継者の創業を支援することに。



竹内寿和子社長

2年前に区のチラシを見て、事業承継セミナーと事業承継専門家派遣を知り、違う意見をもらって前向きになる勇気が湧いてきました。

生み出してきたキャラクターはもちろん、教え子も大事な知的資産。竹内さんの想いは次の世代に受け継がれ、これからも生き続ける。





キャラクターとデザイン、そして社員を引き継ぐ決意 若いスタッフの生き残り戦略は第二創業へ

新社長の川口由香里さんは、20年間にわたる修行を経て、ようやく一人前のデザイナーとなった。そして、従業員から経営者へ、人生をライフシフトすることになる。また、川口さんは家庭を持っており、妻として、母として、もっと良い形で「家庭と仕事のバランス」のとり方に悩んでいた。

理想とする働き方には、仕事も子育ても同時に出来る、助け合いの仲間が必要。それには思い切った経営革新が必要と感じていた。

ワンマン社長から継ぐ苦勞、これからについて

第二創業は新天地で!

自宅のある小田原市で、右腕となる周佐千尋副社長と、創業を決意。合同会社ジーズバンクは、株式会社ジーズバンクで永年勤続した社員を中心に2023年9月に生まれた。代表の川口さんは、子育てと仕事を調和させて、新しい働き方で生きて行きたいと語る。子育て世代のママさんたちにも、安心して働ける環境を提供したいという。単なるデザイン、商業的なキャラクターの制作だけでなく、新しい時代の風を受けて、在宅勤務とシェアワークを組み合わせ、自由で楽しい仲間造りがしたいと、抱負を語る。

支援を受けて得たこと

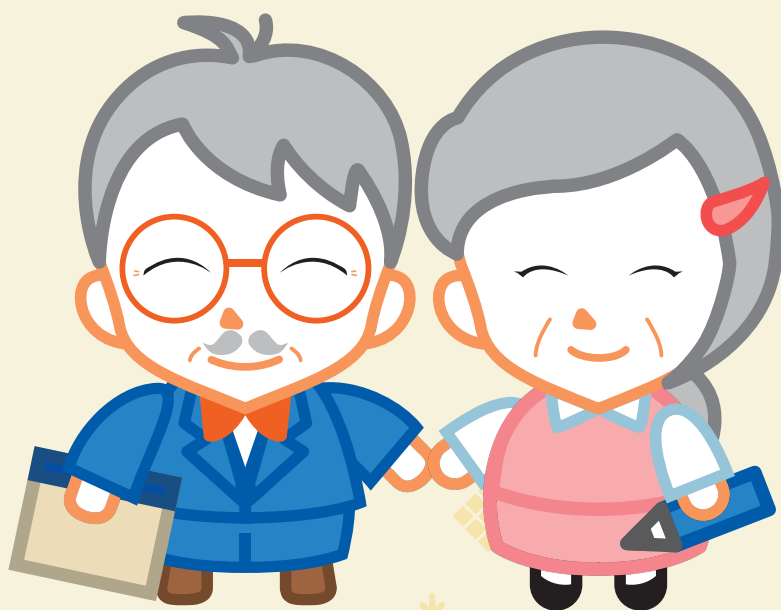
事業承継士の派遣を受けて、譲る側の竹内社長とは別に、具体的な資金調達なども含めて新会社の創業支援も受けた。20年間勤めた会社の名前を引き継いで、新会社として登記した時、責任の重さと未来の明るさに、うまいバランスだなと思った。

おかげで、今もスタッフ全員が、柔軟な発想と実績と技術を活かしている。ジーズバンクはこれからも、仕事は丁寧かつスピーディーに、そして心に寄り添えるかわいいデザインやキャラクターを生み出していきたい。



支援活用の効果を語る!
後継者の川口由香里さん

10年後の
会社の未来を
考えましょう!



品川区事業承継ノート

委託先  **事業承継センター**[®]
思いを明日へ、託し受け継ぐ

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館518 TEL: 03-5408-5506
FAX: 03-5408-5507

※事業承継センター(株)は品川区の事業受託者です